

# 産経新聞朝刊に特別ラッピング

## 国際女性デー記念 「ありたい未来を想像しよう」

### 読者の答えと“次なる問い”も同時募集

産経新聞社は、女性の心と体のケアを考える「フェムケアプロジェクト」に伴う企画として、国際女性デーを記念した特別紙面を3月8日（日）の産経新聞東京本社版朝刊に掲載しました。2026年3月末が期限だった「女性活躍推進法」が10年延長になったことを受け、「未来」をテーマに掲げました。多様な立場や価値観が交差する時代に、一人ひとりが自分の「ありたい未来」を想像し、身近な人との対話や相互理解へと踏み出す、そのきっかけになるような特別紙面を目指しました。

特別紙面は4ページにわたり、朝刊の外側を包み込むラッピング仕様で掲載。見開き表面では、紙面いっぱい“カード”を配置し、暮らし、健康、仕事など身近なテーマの問いを提示しています。性別や年代を超え、多様な人の生きやすい社会の実現を願うフェムケアプロジェクトが国際女性デーに特別紙面をお届けするのは今回が3回目。「正解はないけど、考えるとちょっと景色が変わるかも」というメッセージのもと、自分の価値観を見つめ、他者の立場を想像する機会になるように、読者参加型の仕立てにしています。



見開き表面

裏面では、国際女性デーの由来や、フェムケアプロジェクトのこれまでの歩み、今年のテーマ「未来」に込めた意図、協賛企業各社が考える「未来」へのメッセージに加え、国際女性デーに合わせた関連企画（イベント、特集等）も紹介し、紙面で生まれた気づきを社会のアクションにつなげる導線を設計しています。



**みんなの描く ニッポンの姿**

10年後、どんな社会であってほしい？

生理がもっと過ごしやすい社会

一人ひとりの「10年後」が、届く社会へ

「未来をつくるもんだい」

10年後、どんな社会であってほしい？

**ありたい未来考える日に**

3月8日は国際女性デー

国際女性デーを盛り上げる番組はこちら

2026→2036 ありたい未来を想像しよう！

歴史を俯瞰して眺める女性の社会参画の現在地

日本に広がる「性別平等」の歴史と現状

見開き裏面

さらに、3月31日（火）まで、表面のさまざまな問いに対して、読者のみなさまの「答え」を募集。自分自身が気になっていること、周りの人に聞いてみたいことをカードの「問い」にする投稿も募ります。“正解のない問い”に、読者のみなさまと一緒に向き合い、よりよい未来づくりへの一歩になれば幸いです。今後も紙面、デジタル、イベント等の連動により、未来をともにつくるための情報発信と場づくりを続けてまいります。

■参加しよう！「未来をつくるもんだい」

キャンペーン期間中、読者のみなさまが考える「答え」や「問い」を募集。寄せられた内容は、後日、産経新聞やフェムケアプロジェクトのコンテンツとして紹介する予定です。詳細は下記URLから。

期間：3月8日（日）～31日（火）まで

URL：[https://metropolitana.tokyo/ja/archive/fcp\\_special\\_contents\\_iwd2026](https://metropolitana.tokyo/ja/archive/fcp_special_contents_iwd2026)

【協賛】あらた、NTTドコモ、花王、サイボウズ、産経新聞制作、サンケイビル、日清オイリオ、パナソニック、ファンケル、森ビル（※50音順）

【協力】コントレックス、一般社団法人日本フェムテック協会

## ■フェムケアプロジェクト



フェムテックやフェムケアに関する最新情報提供やイベント実施など、女性の心と体のケアを考え、よりよい未来につなげるための産経新聞社の媒体横断型プロジェクト。2021年10月始動。家庭や職場、学校などあらゆる場面で誰もが当事者として互いに語り合い、理解し合い、寄り添うことのできる社会の実現を目指し、意識と行動を促す情報を発信しています。

【公式サイト】 <https://www.sankei.com/special/femcareproject/>